

大学の世界展開力強化事業(2022年度選定) 新潟大学 取組概要

【事業の名称】(選定年度2022年度 主たる交流先(インド・オーストラリア・スリランカ))

インド太平洋地域の「仮想フィールド」を活用したハイブリッド型フィールド科学人材育成プログラム

【交流推進事業の概要】



【交流プログラムの概要】

○クラウド型オンライン学習と渡航型オンサイト学習を連結したハイブリッド交流プログラムで、体験型の短期プログラム、課題解決型の中・長期プログラムを実施する。オンライン学習では、「仮想フィールド」としてオンライン教材化した調査風景等の環境情報を用いて、各国学生混成チームでの課題設定及び解決策の立案に取り組むグループワークを行う。渡航型オンサイト学習では、仮想フィールド学習の仮説検証や実際の試料を用いた解析等を行い、自然を精緻に読み解く実践力を習得する。

○地質・環境コンサルタントや資源エネルギー系の各国企業等で行う課題解決型インターンシップ、起業文化の強いインド工科大学のアントレプレナー教育を通じて、キャリアビジョンの形成を行う。

○学生主体による各国学生混成チームでの課題設定及び解決策への立案、互いの経験を共有するワークショップや学生サミット等で相乗的な教育効果を狙う。教材や成績管理をJV-Campusなどのクラウド型オンライン教育システムによりDX化して質保証及び共有化を図り、単位互換を行う。長期プログラムではダブルディグリープログラム(DDP)にも取り組む。

【本事業で養成する人材像】

○地球環境に関する専門的・実践的知識を強みのフィールドエンジニア・コンサルタントとして、環境保全と持続的な経済発展が両立する「超長期の持続可能社会」の実現に国際的に貢献できるリーダーとなる人材。

○自然・文化・社会との調和を図り、環境への負荷が少ない自然資源の活用やSDGsに準拠した自然環境保全策を立案できるインド太平洋地域の新産業のシーズ創出及び国際交流の架け橋となるプランナーとなる人材。

【本事業の特徴】

本学と特徴的なフィールドや調査技術教育シーズを有するインド太平洋地域(インド、オーストラリア、スリランカ)の9大学との協働によって、オンラインの利点を最大に活用するフィールド科学人材育成プログラムの国際プラットフォーム構築を目的とする事業である。また、近年のインド太平洋地域連携による経済的発展(自由で開かれたインド太平洋の実現)と同時に、生活基盤となる自然環境を保持しつつ、グローバルな視点での資源や環境を効率的に利用する持続可能な社会の構築(SDGs)へのニーズにも対応したものである。

【交流予定人数】

		2022	2023	2024	2025	2026
派遣	実際に渡航する学生	0	0	0	0	0
	自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生	20	40	40	40	50
	実渡航とオンライン受講を行う学生	0	20	25	25	30
受入	実際に渡航する学生	0	0	0	0	0
	自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生	20	40	40	40	50
	実渡航とオンライン受講を行う学生	0	25	30	30	35